

- 問1 古代中国の殷王朝において、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた文字（甲骨文字）が使用されていた目的や背景として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 農作物の収穫や戦争などの国家の重要事項を決定するために、神意を問う占いをを行った結果を記録した。 | 2. 青銅器の表面に鋳造することで、王朝の歴史や先祖への感謝を後世に伝えるための記念碑として使用した。 | 3. 秦の始皇帝が中国を統一した際、各地で異なっていた言語や度量衡を統一するための基準として作成した。 | 4. メソポタミア文明から伝わった文字を改良し、王の権力を周辺諸国に誇示するための行政文書として用いた。 |
|---|---|---|--|
- 問2 中世ヨーロッパにおいて、十字軍の遠征が行われたことがその後の社会に与えた背景や影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 山梨県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 遠征に成功したことでローマ教皇の権威が絶対的なものとなり、宗教改革を未然に防いだ | 2. 遠征を通じてイスラム世界の進んだ文化や学問が流入し、ルネサンスの遠因となった | 3. 遠征軍がアジアから持ち帰った茶の栽培が広まり、ヨーロッパの農業構造が変化した | 4. イスラム勢力が完全に消滅したため、キリスト教諸国によるアメリカ大陸の植民地化が始まった |
|---|---|---|--|
- 問3 古代文明で用いられた文字とその記録媒体の組み合わせとして、メソポタミア文明に該当する説明はどれか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|-------------------------------------|
| 1. インダス川流域で、印章に動物の姿などとともに絵文字として刻まれた。 | 2. ナイル川流域で、パピルスと呼ばれる植物から作られた紙のようなものに記された。 | 3. 葦のペンをを用い、乾燥させる前の柔らかい粘土板に押し当てるようにして刻まれた。 | 4. 黄河の流域で、亀の甲羅や牛の骨に刻んで占いの結果などを記録した。 |
|--------------------------------------|---|--|-------------------------------------|
- 問4 15世紀末のヨーロッパで作られた地球儀には描かれていなかった南アメリカ大陸で、独自の発展を遂げたインカ帝国の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. アンデス山脈の厳しい自然環境に適応するため、高地の斜面に段々畑を造り、高度な石造技術を用いた都市を建設した。 | 2. ユカタン半島を中心に、高度な天文学や数学を発達させ、独自の象形文字や精密な暦を使用する都市国家を形成した。 | 3. メキシコ高原を中心に、巨大なピラミッド型神殿を持つテノチティランを首都として栄えたが、スペイン人に滅ぼされた。 | 4. 大西洋と地中海を結ぶ交易の中継地として、鉄製の武器や馬車を用いることで広大な領土を支配する中央集権国家を築いた。 |
|---|--|--|---|
- 問5 日本で最初の元号とされる「大化」が使われ、大化の改新などの国づくりが進められていた7世紀の西アジアにおいて、ムハンマドによって新しく開かれた宗教の名称を答えなさい。（2019年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-----------|----------|-------|
| 1. イスラム教 | 2. ヒンドゥー教 | 3. キリスト教 | 4. 仏教 |
|----------|-----------|----------|-------|
- 問6 日本の旧石器時代における人々の生活様式や文化の特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2017年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 大陸から伝わった稲作を行い、収穫した米を蓄えるための高床倉庫や大規模な環濠集落を築いた。 | 2. 青銅器や鉄器などの金属器を使い始め、身分による貧富の差が生まれ、小国が乱立するようになった。 | 3. 表面に縄目の文様がある土器を使い、貝塚を作るなど同じ場所に長期間定住して生活していた。 | 4. 石を打ち欠いて作った道具を使い、獲物を追って移動しながらテントのような簡易的な住まいで暮らしていた。 |
|---|---|--|---|
- 問7 アフリカ州の多くの国で見られる、緯線や経線に沿った「直線的な国境線」について、その特徴を説明した記述として正しいものを次の中から選びなさい。（2021年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. レアメタルなどの地下資源が地層に沿って直線状に埋蔵されているため、その分布に合わせて引かれた。 | 2. アフリカ諸国が独立する際、民族紛争を避けるために伝統的な居住区を尊重して引いた線である。 | 3. 植民地時代の支配国が、現地の合意を得ることなく地図上で便宜的に引いた境界線に基づいている。 | 4. 自然国境と呼ばれ、大規模な農地開発を行うために地形に合わせて人工的に整えられたものである。 |
|--|---|--|--|
- 問8 インダス文明の遺跡から出土した、一角獣のような動物のレリーフと象形文字のような記号が刻まれた長方形の石製品について、その特徴や背景を説明したものとして適切なものはどれですか。（2017年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|-------------------------------|
| 1. これらは甲骨と呼ばれ、文字は亀の甲羅や動物の骨に刻まれた中国最古の文字である。 | 2. これらはパピルスと呼ばれ、文字はナイル川流域の王の事績を記録したものである。 | 3. これらは粘土板と呼ばれ、文字はメソポタミアとの交易記録を記した楔形文字である。 | 4. これらは印章と呼ばれ、文字は現在も解読されていない。 |
|--|---|--|-------------------------------|
- 問9 1949年、群馬県の岩宿遺跡において関東ローム層の中から打製石器が発見されたことにより、日本列島に存在したことが初めて証明された時代を何というか。（2021年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|---------|----------|
| 1. 縄文時代 | 2. 旧石器時代 | 3. 弥生時代 | 4. 新石器時代 |
|---------|----------|---------|----------|
- 問10 四大文明の一つであるメソポタミア文明について、その特徴や文化的な背景を説明した文として最も適切なものは、次のうちどれですか。（2021年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. ティグリス川とユーフラテス川の増水時期を予測する必要から、天文学が発達し、太陰暦や六十進法が生まれた。 | 2. ナイル川の定期的な氾濫を管理するために、測量術が発達し、太陽暦や象形文字が使われた。 | 3. 黄河や長江の流域で青銅器文化が発達し、亀の甲羅などに甲骨文字が刻まれた。 | 4. インダス川流域で都市文明が発達し、印章などに刻まれた独自の未解読文字が使われた。 |
|--|---|---|---|
- 問11 中国の黄河流域で発見された、亀の甲羅や牛の骨に複雑な形状の文字が刻まれた資料について、この文字を使用していた王朝とその背景の説明として最も適切なものはどれですか。（2020年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|---|
| 1. 隋の時代に、科挙の試験を正確に実施するために標準化された書体として広まった。 | 2. 殷の時代に、王が政治の重要事項を占った結果などを記録するために使用された。 | 3. 秦の時代に、始皇帝が文字を統一して全国で公式に使用するために定めた。 | 4. 漢の時代に、儒教の教えを広く民衆に伝えるための石碑に刻むために作られた。 |
|---|--|---------------------------------------|---|
- 問12 古代ローマ帝国では、イエスの教えを信じる人々を当初は迫害していましたが、のちに帝国を統治するうえで民衆の団結を強めるためにキリスト教を公認し、4世紀末には特定の宗教のみを国の宗教として決めました。このように、国家が法律によって特定の宗教を公に認めたものを何といいますか。（2020年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 1. 民主政治 | 2. 仏教 | 3. 儒教 | 4. 国教 |
|---------|-------|-------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 農作物の収穫や戦争などの国家の重要事項を決定するために、神意を問う占いをを行った結果を記録した。	古代中国の殷王朝は、宗教的権威によって国を治める「祭政一致」の性格が強い国家でした。甲骨文字は、豊作の祈願、戦争の成否、天候の予測といった政治上の重大な決断を下すための「占い」の内容や結果を記録するために使われました。資料に見られる骨や甲羅の表面に刻まれた細い線のような跡は、神託を記録した当時の公文書としての役割を持っていました。
問2	答え 2 遠征を通じてイスラム世界の進んだ文化や学問が流入し、ルネサンスの遠因となった	十字軍の遠征は軍事的には失敗に終わりましたが、東方との交流が活発化したことで、当時のヨーロッパよりも進んでいたイスラム世界の医学、天文学、古代ギリシャの文献などが流入しました。これが後の人間中心の文化運動であるルネサンスにつながる重要な背景となりました。
問3	答え 3 葦のペンを用い、乾燥させる前の柔らかい粘土板に押し当てるようにして刻まれた。	メソポタミア文明では、地域で豊富に得られた粘土を記録媒体として活用しました。エジプト文明のバビルスや、中国（殷）の甲骨など、それぞれの文明は身近にある材料を利用して文字を残しました。メソポタミアの粘土板は、乾燥させたり焼いたりすることで、長期的な保存が可能となりました。
問4	答え 1 アンデス山脈の厳しい自然環境に適応するため、高地の斜面に段々畑を造り、高度な石造技術を用いた都市を建設した。	インカ帝国は標高の高いアンデス山脈に位置していたため、限られた土地を有効に活用する段々畑の技術や、地震にも耐えるほど精巧な石造建築が特徴です。メキシコ高原で栄えたのはアステカ文明、ユカタン半島で栄えたのはマヤ文明であり、地理的条件や文明の特色によって明確に区別されます。
問5	答え 1 イスラム教	7世紀の西アジアでは、ムハンマドが唯一神アッラーの教えを説くイスラム教を創始しました。この時期の日本は飛鳥時代にあたり、聖徳太子の政治や大化の改新（645年）が行われていた時代と一致します。シャカによる仏教やギリシャのポリス形成は紀元前の出来事であり、イエスによるキリスト教の成立は1世紀のことです。
問6	答え 4 石を打ち欠いて作った道具を使い、獲物を追って移動しながらテントのような簡易的な住まいで暮らしていた。	旧石器時代はまだ土器が発明されておらず、人々はマンモスやナウマンゾウなどの大型動物を狩るために、移動を繰り返す生活を送っていました。そのため、縄文時代のような定住性の高い竪穴住居ではなく、移動に適した仮住まいを利用していたと考えられています。他の選択肢は、縄文時代（土器・定住）、弥生時代（稲作・金属器・国）の特徴です。
問7	答え 3 植民地時代の支配国が、現地の合意を得ることなく地図上で便宜的に引いた境界線に基づいている。	アフリカの国境線の多くは、かつての植民地支配時代にヨーロッパの列強諸国が引いた境界線をそのまま引き継いでいます。これを「数理的境界」とも呼びます。現地の民族分布や歴史的経緯を無視して一方的に境界が定められたため、本来は一つのまとまりであった民族が複数の国に分断されるといった事態を招きました。これが現代においても、特定の民族が住む地域に埋蔵されるレアメタルなどの資源争奪戦と結びつき、深刻な対立を引き起こす背景となっています。
問8	答え 4 これらは印章と呼ばれ、文字は現在も解読されていない。	インダス文明の遺跡からは、滑石（かっせき）で作られた四角い印章が多数発見されています。そこには一角獣や牛、象などの動物の姿とともに独自の文字が刻まれており、荷物の封印などに使用されたと推測されています。他の古代文字が解読されていく中で、この文字は解読が進んでいないため、文明の政治体制や信仰の詳細は謎に包まれています。
問9	答え 2 旧石器時代	かつて日本には土器の使用以前の文化は存在しないと考えられていましたが、相沢忠洋による岩宿遺跡での発見によって、土器を使用する前の「旧石器時代」の存在が明らかになりました。この時代の石器は、石を打ち欠いて作った打製石器が中心です。
問10	答え 1 ティグリス川とユーフラテス川の増水時期を予測する必要から、天文学が発達し、太陰暦や六十進法が生まれた。	メソポタミア文明は、不規則な氾濫を繰り返すティグリス川とユーフラテス川の流域で成立しました。そのため、農業の管理に不可欠な暦や数学が高度に発達しました。この地域で生まれたくさび形文字は、のちに周辺の民族にも広まり、西アジア全体の文化の基礎となりました。選択肢にある「ナイル川」はエジプト文明、「インダス川」はインダス文明、「黄河・長江」は中国文明に関する記述です。
問11	答え 2 殷の時代に、王が政治の重要事項を占った結果などを記録するために使用された。	殷の王は、祭祀や戦争、農作物の収穫などの重要事項を、亀の甲羅や牛の骨を焼いたときに入る「ひび」の形で占っていました。その占いの内容や結果を刻んだものが甲骨文字であり、当時の政治が宗教的な権威に基づいていたことを示しています。
問12	答え 4 国教	ローマ帝国は広大な領土と多様な民族を支配するために、当初は皇帝を神として崇拝することを強要し、それを拒むキリスト教徒を弾圧しました。しかし、社会不安が増大する中でキリスト教が急速に広まったため、帝国を維持・統合する手段としてこれを利用する方針に転換しました。その結果、テオドシウス帝の時代にキリスト教以外の宗教を禁止し、国の宗教としての地位を確立させました。